

大学教育再生加速プログラム(AP) 中間評価結果

整理番号	15	大学等名	福岡歯科大学
テーマ	テーマⅡ 学修成果の可視化		

【総括評価】

A：計画どおりの取組であり、現行の努力を継続することによって本事業の目的を達成することが期待できる。

【コメント】

<優れている点>

- ・卒業時アウトカムの設定や新ディプロマ・ポリシーの確立など、大学全体としての取組が進んでいることから大学改革は加速していると判断できる。
- ・Web システムによる e-シラバスを導入し、成績評価の厳格化を進めていることは評価できる。また、平成 26 年度に新設された「教育支援・教学 IR 室」が収集・分析した教学情報の結果を就学支援に活用していることも評価できる。
- ・学長を室長とした教育支援・教学 IR 室及び同運営委員会を中心に事業の実施体制を整備し、自己点検・評価委員会や外部評価委員会と連携して PDCA を回していることは評価できる。体制整備が適切に行われているほか、資金計画の面からも問題なく、補助期間終了後も事業実施が見込めると判断でき、評価できる。
- ・AP 中間報告会の主催、大学ホームページへの AP のバナーの設置、各種学術大会へのポスター参加等により取組を普及させていることは評価できる。

<改善を要する点>

- ・目標に対する達成度について、退学率が上昇したことと、学生の授業外学修時間は若干増加したものの目標を達成できなかったことについては、早急に原因を分析し改善案を提示する必要がある。